

畜産みやぎ

発行所
仙台市青葉区上杉一丁目2番16号
社団法人 宮城県畜産会
電話 (262-9180)
編集発行人 茂木要治
定価 1部62円
印刷所 KK東北プリント



牛群検定事例発表会 (田尻町文化センター: '94.3.3)

も く じ

- 平成6年度畜産課予算の概要と新規事業の紹介…… 2
- My Dreams Come True!…… 4
- 大崎養豚協会設立20周年式典から…… 5
- 畜産試験場における生産6年度の試験研究計画…… 6
- オーエスキー病ワクチンについて…… 7
- 随 想…… 7
- 人の動き…… 8

平成6年度畜産課予算の概要と新規事業の紹介

宮城県畜産課

平成6年度畜産関係予算一覧表

昨年はガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意による米のミニマム・アクセス及び乳製品の受け入れが決定されたほか、気象観測史上最悪の冷夏に見舞われたため、大凶作となりました。

このため、本年度においては、農家経済の早期回復を図るため、生産者の主体的取り組みと地域の特色を活かしながら、国際化の諸情勢に対応し、気象変動等にも耐え得る均衡のとれた農業構造に誘導する必要があります。

このような情勢を踏まえ、本年の畜産事業については、「地域に根ざした魅力ある畜産の推進」をスローガンに、牛肉輸入自由化関連対策、担い手対策及び生産性向上対策として肉用牛振興策の総合的な展開、酪農ヘルパー制度の拡充、ゆとりあるモデル酪農集団の育成、系統豚の普及定着化等を積極的に推進するとともに、地域ぐるみの畜産経営環境の整備、家畜保健衛生対策を強化するほか、産地間競争に打ち勝つ能力の高い雄型種豚の選抜・確保に着手します。また、「仙台牛」、「宮城野豚（ミヤギノポーク）」といった県内畜産物の安全性の確保、流通の合理化、さらには畜産団体の組織整備等に重点を置いて別表の事業を推進します。

科目・事業名	本年度予算額 (千円)
I 畜産総務費	626,192
II 畜産振興費	1,819,669
1. 家畜改良増殖事業費	181,716
2. 家畜改良対策事業費	3,851
3. 家畜導入事業費	30,520
4. 畜産高度生産技術実用化促進事業費	13,437
5. 畜産流通対策事業費	16,762
6. 地域畜産振興事業費	61,105
7. 畜産経営環境整備事業費	177,935
8. 環境保全型畜産確立指導事業費	5,182
9. 畜産団体等育成強化事業費	69,760
10. 公共育成牧場対策事業費	103,856
11. 草地開発事業費	900,833
12. 自給飼料生産対策事業費	4,422
13. 流通飼料対策事業費	1,941
14. 学校給食用牛乳供給事業費	131,507
15. 生乳流通改善対策事業費	5,939
16. 酪農経営体質強化対策事業費	2,440
17. 畜産活性化総合対策推進事業費	8,025
18. 肉用牛総合振興推進事業	88,038
19. 養豚振興総合対策事業費	12,400
III 家畜保健衛生費	178,558
1. 家畜伝染病予防事業費	58,525
2. 家畜保健衛生対策事業費	22,529
3. 家畜衛生技術指導事業費	24,808
4. 自衛防疫推進事業費	72,696
IV 新宮城の水田営農活性化対策事業費	36,000
合計	2,660,419

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。



宮城県牛乳普及協会

仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688

動物用薬品器材のことなら 古い伝統と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市青葉区上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL (225) 7330・7338・7339

仙台営業所 仙台市青葉区上杉三丁目3-8

022 (225) 7338~9

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28

0229 (34) 2018~9

仙北営業所 登米郡迫町佐沼字萩洗1

0220 (22) 2278

以下、平成6年度の新規事業を紹介します。

I. 大家畜振興事業

1. 肉用牛総合振興推進事業

畜産をとりまく情勢の変化に迅速に対応し、地域の特性を活かした産地作りを全県的に取り組む事業です。

- (1) 事業主体 県, 市町村和牛の郷づくり推進協議会等
- (2) 事業年度 平成6~8年度
- (3) 6年度予算額 8,300千円
- (4) 事業内容

ア. 国際化に対応し得る「人づくり」の推進
企業者マインドをもった担い手の育成を図る事業

牛飼いのプロの育成：牛飼いのプロ育成事業，カウ・レディ育成事業

夢の生きがい対策：体験スクール事業，シルバー・グレートピア事業
牛飼いのヘルパー事業

イ. 文化の香り高い「里づくり」の推進

ゆとり創出酪農集団育成対策推進事業，ふれあい，活力のある地域文化の創造を図る事業

都市と農村の絆づくり：農村文化交流事業，里の風推進事業，牛飼いのロマンの里づくり事業

農村アメニティ対策：畜産アメニティ対策事業，畜産ゾーン整備事業

ウ. 商品性の高い「牛づくり」の推進

輸入自由化，産地間競争に打ち勝つ高品質牛の生産を図る事業

地域ぐるみの品質向上対策：肉質向上キャンペーン事業，繁殖牛グレードアップ事業，ET技術普及事業

低コスト生産推進活動：一貫生産促進事業，規模拡大促進事業

2. 優良肉用牛資源確保対策事業

優良肉用牛生産のため，大規模牧場を利用した優良種畜生産供給体制の整備を図る事業です。

- (1) 事業主体 宮城県農業公社
- (2) 事業年度 平成6年度～
- (3) 6年度予算額 78,000千円
- (4) 事業内容
ア. 優良基礎雌牛の導入に対する助成
イ. 基礎雌牛の育成に係る経費に貸付

II. 養豚振興事業

優良雄型種豚選抜推進事業

発育性・産肉性に優れた宮城の銘柄豚作りを目標として，雄型種豚を選抜・確保する事業です。

- (1) 事業主体 県
- (2) 事業年度 平成6年度～14年度
- (3) 6年度予算額 65,710千円

III. 基盤・環境整備事業

1. 団体営畜産環境総合整備事業

草地等の基盤を整備するとともに，畜産資料展示室等を整備し，牧場機能を強化する事業です。

- (1) 事業主体 栗駒町(深山牧場)
- (2) 事業年度 平成6～8年度
- (3) 6年度予算額 59,995千円
- (4) 事業内容
草地整備 3.3ha
隔障物整備 300mほか

2. 低コスト肉用牛生産基盤開発調査事業

牧草地・野草資源として開発可能地域における低コスト肉用牛生産推進のための基本構想・開発手法を検討する事業です。

- (1) 事業主体 県
- (2) 事業年度 平成6～7年度
- (3) 6年度予算額 8,000千円
- (4) 事業内容

大崎西部地区について地域概要調査，放牧牛市場評価調査，林間放牧の事例調査，基本計画

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

ルビックス

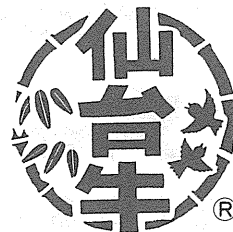
牛用混合飼料

S

アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化混合飼料

農協 全農 経済連

正統の育ちと味



仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL 022(264)8449-50

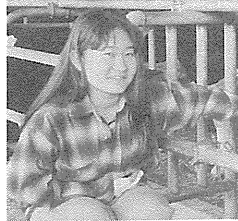
3. 畜産経営環境整備基礎調査事業

畜産経営に係る環境汚染の防止と畜産振興を図るための基本方針を定め、環境整備の各種施策を講ずる上での指針を明らかにする事業です。

- (1) 事業主体 県
- (2) 事業年度 平成6～7年度
- (3) 6年度予算額 10,200千円
- (4) 事業内容

栗原東部地区について地域概要調査、家畜排せつ物処理状況調査、環境汚染状況調査、基本計画策定等を実施します。

実践大学校生及びOBの抱負



My Dreams
Come True!

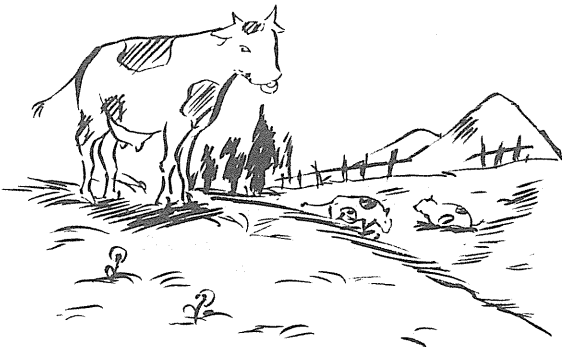
古川市出身 畜産学部2年
門間 忍

はじめまして、私はこの4月から畜産学部2年生として、牛と緑に恵まれた岩出山で学んでいます。1年の時に行った農家への派遣学習を通して、私の夢について若干お話ししたいと思います。

まず、私の家の紹介をしますと、祖父の代から始めた酪農を営んでおり、最初は1頭でしたが、父が勤めをやめて農業に従事するようになってから、増頭しはじめ、現在では成牛30頭までになりました。平成3年には、古川市宮沢へ移転しパイプライン、バンクリーナーを備えた新牛舎を建てました。重労働も減り、作業性も“ぐん”とアップしています。

実践大学校での研修の一つに、県内の優れた農家に1ヶ月宿泊して経営内容、生産技術、農家生活の実際を学ぶ派遣研修があります。私の研修先は、東和町の千葉敏行さん宅でした。千葉さんは酪農で受精卵移植を積極的に取り入れており、今年1月には県内初のクローン牛が誕生しています。高泌乳牛の管理、育成技術も高く、大変に勉強になりました。また、F1牛の肥育も行い、経営の安定化にも努めているのです。前向きに、積極的に取り組む姿勢は素晴らしいと感じました。

私は将来、師匠としている千葉さんと父からアドバイスを受け、ET和牛生産と乳量1t/日を目標にして行くつもりです。しかし、酪農をする上でいくつかの問題もあります。子牛販売価格の低迷、生産調整、糞尿処理など頭の痛い難問ばかり。これら諸問題と目標に対して、未来のパートナーと共に乗り切って行きたいと考えています。今のところこれが私の夢……。



WORLD カボカ
サンシャイン

株式会社 **五十嵐商会**
 仙台市若林区卸町五丁目1番地4
 電話 (022) 236-2525 (代表)

EISHIN クスリの総合卸

株式会社 **エーシン**

取締役社長 山田 修造

本社 (畜産課) 仙台市若林区卸町2丁目10-3
 ☎(022)284-8111 FAX(022)284-8127
 古川市福浦字道の上137-1 ☎(0229)24-1211

<地域の目>

大崎養豚協会設立20周年式典から

古川家畜保健衛生所

去る2月23日大崎養豚協会設立20周年式典が、古川市内で盛会に施行され、養豚情勢の変遷などを交えたあいさつ。祝辞に引続き各功績者の表彰式のあと、㈱サイボク、取締役種豚部長、田中 冽氏を迎え「21世紀は畜産文化の時代」と題して基調講演をいただきその要旨は以下のとおりです。

・体型中心から能力重視への改良

以前は体型重視のブリーダーと産肉性を狙った一貫経営農家とにギャップが生じていた。現在は繁殖能力を引き出すためにランドレース種や大ヨークシャ種の組合せに加え、さらに産肉性を求めるためのハンプシャーやデュロック種等の三元交配で肉量のあるものを求めています。

今後の改良を進めていくには日本人好みの豚肉生産でなければならない。誰が食べてもササニシキのように「おいしい」と云われる肉豚を生産していかねば生産県として位置づけは難しい。現在多くの店頭で飼養頭数全国一の鹿児島県の豚が全部パークシャーでも足りない程、黒豚として並んでいる。しかしながら本当の中身のある黒豚はごく僅かである。

流通を意識した養豚経営の確立

豚価相場は、日本程ひどいものがなく生産者不在での電話で各市場取引を開きながら、たったの2秒で決められる。やはり生産費位は取れるような流通体系を考えねばならない。また生産だけで成立する養豚は終り、今後は特殊なものを作らねば生きて行けない。それには生産者自身が豚肉の味を知り、皆んなと一緒にの価格では売たくないと言う自信をもって、消費者に届け美味と云われるようでなければならない。

日本人は何故がダメダメと相手に責任転嫁が多いがダメと云うのは自分の責任がある事に気付かねばならない。

また今消費者はどのような農畜産物を望んでいるか

把握しなければならない。かつて〇〇地域の生産物を求めていたが、今はどこの地域で誰がどのようにして作ったものかを求めています。価格より、むしろ品質が良く安心できるものを望んでいます。

当地域は新幹線、高速道もあり交通網には非常に恵まれ消費圏には近くこの好条件をいかに最大限に利用することにあると思います。

今後は畜産だけではなく、有機栽培で作ったササニシキ等の銘柄を核として、地域で生産される農畜産物を組合せた消費流通体系を確立していかなければならないと思います。

生産している農業の本当の姿を消費者に知ってもらうためにも消費者との交流は非常に大切です。サイボクでは消費者と生産者の交流の場としてトントンハウスがありますが、子供から親まで来てもらって実際に動物に触れていますが、これが真の流通と思います。

生産者はいかに良いものを、いかに早く消費者に届けるかにかかっていると思うのです。

これからの養豚農家は、経営がいかにしっかりしているかです。奥さんがしっかりしているところでは経営も良いところが多い、奥さんには経理全般と分娩舎をまかせ経営の収入役に徹し、夫は体力と技術を提供し特に養豚経営は、お金の回転をいかに早くするかにかかっています。隣の農家が180日で出荷するものなら、それ以上に早く出荷し隣り以上に儲ける技術が要求されます。今までのように親がやっていたからあとを継がねばならない時代ではなく、いかに特別のものを作れるかであり、これを完備出来れば「畜産は自分の能力を発揮できる産業」と云えるのではないのでしょうか。

(三浦正行)

畜産の健康と未来に貢献する

獣医薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地
TEL 0198 (26)4151(代)

古川営業所 古川市清水字周防10-1
TEL 0229-26-4567

花巻営業所	水沢営業所	青森営業所
盛岡営業所	大館営業所	八戸営業所
大船渡営業所	横手営業所	山形営業所
酒田営業所	福島営業所	

STAR スター農業機械

マニュアルフレッタ

倍角ステアリングで
ラクラク作業



TBM1550+A DW1800
(倍角ステアリングボディ) (ディスクホイール)

スター農機株式会社 仙台営業所
〒985 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573

<畜試便り>

畜産試験場における平成6年度の試験研究計画

1) 重点方針

畜産は、均衡ある農業生産構造を展開していく上で本県農業の基幹作目として、重要な部門を占めているが、担い手の確保、生産性の向上、経営体質の強化、畜産環境問題等多くの問題を抱えており、これらへの対応が緊急な課題となっている。このためには、試験研究分野においても、労働負担の軽減や生産性を飛躍的に高める新技術の開発、より能力の高い家畜への改良をはじめ、低コスト飼料資源の確保のための技術開発等が求められている。

このことから、畜産試験場においては、自動給与システムや放牧等による省力的な飼養管理技術、高能力牛や系統豚「ミヤギノ」の飼養方法、牛肉・豚肉等高品質畜産物の生産技術、牛・豚の受精卵移植や関連技術の開発、自給飼料の高位安定生産を図るための技術や畜産分野における環境保全型技術開発に取り組む。

なお、平成5年度の冷害に関連して、異常気象下でも良質粗飼料を安定的に生産するための研究を強化する。

ア. 酪農肉牛

乳牛については牛乳の生産のコスト低減を図るために、高泌乳牛の能力に見合った乳量、乳質を確保する生産技術や牛群管理を容易にするための飼養方式について試験研究を実施する。

肉牛については、高品質牛肉生産のための最適な肥育管理条件を検討するための試験を実施する他、新たな県内の黒毛和種の改良のため、従来行ってきた種雄牛の遺伝的産肉能力の評価に加え、繁殖雌牛の総合的な育種価推定のシステムを構築するための研究、公共牧場等大規模草地の有効活用と子牛生産・育成のコスト低減並びに省力的な繁殖牛の飼養管理を確立するための研究を実施する。

受精卵関係については、正常受精卵を安定的に生産するための関連技術や双子生産・体外受精等の応用技術のより一層の成績向上に努めるとともにクローン牛生産のための基礎的研究を実施する。

イ. 種豚家きん

系統豚「ミヤギノ」の普及促進を重点に原原種の維持とその効率的飼養法の究明、「ミヤギノ」の有効利用を図るため交雑方式と高品質豚肉生産技術の検討、環境保全に配慮した繁殖豚及び子豚の飼養技術の開発の他、バイオテクノロジー等新技術を活用した豚受精卵移植技術、豚精液の凍結保存技術な

ど系統豚の能力を十分に発揮させるために必要な試験研究を実施する。

ウ. 草地飼料

草地飼料については、自給飼料の低コスト高位生産と高品質粗飼料の安定確保を図る転換畑飼料作物を含めた優良品種の選定、栽培調整技術の確立、飼料作物の生産特性と気象との関連解明についての試験研究を実施する。更に、平成6年度から新たに、生産力の低下した草地の草生回復を図るため、低コストを簡易更新技術の開発にも取り組む

環境資源開発については、天候に左右されることなく良質粗飼料を生産するための全天候型良質粗飼料調整技術の開発、混合飼料の調整貯蔵システム化と流通技術の開発のための試験研究を実施する。

2) 重点課題

ア. 生乳生産性向上のための飼養管理技術の確立

(継) K-6 S-1-8

イ. 公共牧場の有効活用による黒毛和種繁殖牛の放牧技術(新) K-1 K-6 S-1-9 S-3-7

ウ. 黒毛和種牛育種システム効率化のための研究(新) K-6 S-1-9

エ. 効率的高品質牛肉生産のための飼料給与方式の確立(継) K-6 S-1-9

オ. 牛体外受精に関する研究(継) K-6 S-5-2

カ. ミヤギノを利用した系統間交雑豚の高品質豚肉生産に関する試験(継) K-6 S-1-10

キ. ランドレース系統維持群の飼養方法に関する試験(継) K-6 S-1-10

ク. 寒地・寒冷地に適応した環境保全型豚の飼養技術の確立(継) K-6 K-7 S-1-10 S-5-3

ケ. 豚の受精卵移植技術に関する研究(継)※ K-6 S-5-2

コ. 転換畑飼料作物(暖地型牧草飼料作物)栽培調整技術体系の確立(継) K-6 S-1-8 S-1-12

サ. 飼料作物・牧草適応品種の選定(継) K-6 S-1-8 S-3-7

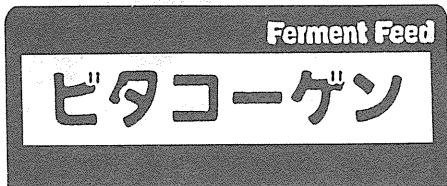
シ. オールインサイレージの省力調整貯蔵システム及び流通技術の開発(継) K-6 S-1-8 S-1-12

※共同研究

県産豚骨の食品素材化と給与飼料中Ca含量の適正化の検討(継) (乳牛科 佐藤)

●特徴 飼料の食い込み、飼料の消化吸収
糞の正常化と悪臭防止など。

35年間の販売と実績を誇る安全：天然野性酵母



ご用命は
酪農組合、農業協同組合
又は畜連支所まで

製造元 清和酵源株式会社
発売元 株式会社 セイワ
[本社：三重県鈴鹿市]

〈衛生便り〉

オーエスキー病ワクチンについて

仙台家畜保健衛生所

豚のオーエスキー病は、一度感染するとウイルスがいつまでも体内に潜み、他の豚への感染源となることから最も防疫の困難な病気のひとつといえます。その対策は、摘発・淘汰方式に加えて、本病が発生または浸潤している地域に限定して、ワクチン接種をとる方式があります。そこで、今回は、オーエスキー病ワクチンについて若干の説明をしたいと思います。

現在、日本国内で使用が許可されているオーエスキー病ワクチンは4種類あります。そのすべてのワクチンは発病は防いでも感染は防御はできないため、ワクチン接種豚でも野外のオーエスキー病ウイルスに感染し、他の豚への感染源となり得ます。このため、野外ウイルス感染豚を区別する必要があり、ワクチンには、野外感染豚とワクチン接種豚を識別するマーカーがついています。つまり、他の病気、例えば豚コレラや、豚丹毒では、検出された抗体が、野外感染によるものなのか、ワクチン接種によるものなのかの区別はできません。ところがオーエスキー病ワクチンでは、専用の市販キットで検査することで、豚の保有抗体が野外感染の抗体であるとか、ワクチン抗体であるとかの判断ができます。しかし、この識別キットは、ワクチンとセットになっているため、他社製のワクチンを使用したり、2種類のワクチンを使用したりすると、判定不能となります。これらのことから、都道府県で使用できるワクチンは、行政単位で1種類のみとなり、また、使用できる地域も本病発生地や汚染地域に限定されます。オーエスキー病対策の基本はあくまでも、本病の撲滅にあります。まず入れないことを基本として特に清浄地では、日頃の検査が重要と思われれます。

(病性鑑定課 鈴木正浩)

〈随想〉

「リレハンメル」

今年2月、北緯61度北極白夜の国、ノルウェー、人口2万3千人という小さな町リレハンメルで冬季オリンピックが開催された。

日本は、前評判としては前回大会メダル獲得数7個を上廻るものと期待されたが、結果は5個に終わった。

五輪には、実力以外に神のみぞ知る何かがあるのだろうか。その代表例は、スケート5百世界No.1、米国のジャンセン(28才)選手である。彼は、今大会の2ヵ月前、5百で驚異の36秒の壁を破る世界記録を更新したばかりで、金メダルは確実といわれていた。答は今回も8位に終り、五輪4回挑戦して五百米で金メダルを得ることはできなかった。(千米は世界新で金)日本のジャンプ陣も同様、戦前の活躍ぶりはメダルを期待されたが、個人戦では一步届かず、金確実との団体戦も、葛西、西方、岡部、原田でドイツに逆転され銀に終わった。一発勝負の怖さをまざまざ見せられた。

日本へ唯一の金メダルをもたらしたのは、ノルデックスキー複合団体戦である。日本得意のジャンプで稼ぎ、距離を有利にとの戦法が的中し、テレビ観戦の多くの国民に不安を与えない戦いぶりは、国中を湧かせた。河野、阿部とつなぎアンカー荻原選手が、国旗を振りかざして大観衆に迎えられ、ゴールしたシーンは最高だった。アルベールヴィルに続き2連覇、堂々の実力を証明してみせた。ほかに日本選手は、多くの競技で世界に通じる活躍が目立った。特に夏冬通算6回目の五輪出場の橋本聖子選手は、選手団の主将を務めながら、スピードスケート3千米では自己の持つ日本記録を5年ぶりに更新し、見事6位入賞を果した偉業は称賛そのものだ。本県出身フィギュアの及川史弘選手、ボブスレーの大堀孝選手等は、4年後の日本長野大会に期待をつないでくれた。

(農業公社 西條)

ORION

ともに前進 技術のオリオン

酪農家の

声を反映した製品づくりと安心の
おけるアフターサービスは
オリオングループの誇りです。



東北オリオン株式会社

本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691

宮城営業所 古川市新田字泉屋敷59-4

☎989-61 TEL (0229)26-4330



動物用医薬品

セレン配合
総合ミネラル固型塩

錠塩セレン

日本全薬工業株式会社

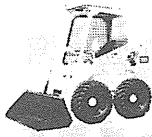
人の動き

宮城県

平成 6 年 4 月 1 日付け

新	旧	氏名
畜産課技術主幹兼畜産経営係長	迫家畜保健衛生所技術主幹兼指導課長	峯岸 こう
兼畜産流通係長	地域農業振興課技術主幹兼水田農業係長	布田 順一
技術主査	仙南食肉衛生検査所技術主査	岸田 忠政
	大和農業改良普及所技術主査	中鉢 正信
	古川家畜保健衛生所	氏家 哲
	築館家畜保健衛生所	石川 知浩
大河原家畜保健衛生所防疫課長	迫家畜保健衛生所防疫課長	大久 昇悦
技術主査	古川家畜保健衛生所技術主査	石澤 勝嘉
	畜産課	伊藤 紳
	新採用	遠藤 潤
仙台家畜保健衛生所次長	築館家畜保健衛生所次長兼指導課長	只野 征邦
技術主幹兼病性鑑定課長	仙台家畜保健衛生所技術主幹兼防疫課長	浅野 安夫
技術主幹兼防疫課長	大河原家畜保健衛生所防疫課長	飯淵 良廣
技術主査	迫家畜保健衛生所	柴崎 卓也
	大河原家畜保健衛生所	大久 範幸
	大河原農業改良普及所	安達 裕美
古川家畜保健衛生所次長	石巻家畜保健衛生所次長兼防疫課長	高橋 勝一
	畜産試験場	高田 直和
	仙台家畜保健衛生所	斎藤 綾
築館家畜保健衛生所次長兼指導課長	大和農業改良普及所技術主幹兼地域指導課長	佐藤 康徳
	迫家畜保健衛生所	中條 満
	仙北食肉衛生検査所	小川 修平
迫家畜保健衛生所指導課長	畜産試験場草地飼料部環境資源科長	谷津 直子
防疫課長	種豚家さん部養豚家さん科長兼仙北食肉衛生検査所	阿部 博行
技術主査	石巻家畜保健衛生所	加藤 伸悦
	新採用	柴田 知也
石巻家畜保健衛生所次長兼防疫課長	仙台家畜保健衛生所技術主幹兼病性鑑定課長	松本 忠
技術主査	畜産課技術主査	山田 稲生
	新採用	岡田 純子
畜産試験場総括研究員	古川家畜保健衛生所次長	佐藤 武夫
総務課長補佐兼総務係長	迫地方農務所調整振興部出納室長補佐兼管理係長	阿部 武典
草地飼料部主任研究員兼環境資源科長	畜産課技術主幹兼畜産経営係長	佐々木 秀夫
種豚家さん部養豚家さん科長兼仙北食肉衛生検査所	畜産試験場研究員	渡部 正樹
研究員	畜産課技術主査	鹿野 裕志
主査	古川土木事務所主査	鈴木 恵子
	新採用	及川 俊徳
農業実践大学校技術副参事兼畜産学部長	仙台家畜保健衛生所次長	横山 孝夫
農政総務課技術主幹兼農協指導係長	畜産課畜産流通係長	菊地 良雄
園芸課主任主査(庶務担当)	畜産試験場総務課長補佐兼総務係長	青山 誠
農業技術課		荒木 利幸
大和農業改良普及所	大河原家畜保健衛生所	嶋田 俊治
仙北食肉衛生検査所	仙台家畜保健衛生所	鈴木 正浩
	築館家畜保健衛生所	金田 善靖
大崎保健所主査	畜産試験場主査	佐々木 典子

TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
東北ティーン・シー・エム株式会社

983 仙台市宮城野区中野字葦畔135-1
電話 022-259-6351

KOMATSU



カンタン操作で、
飼料も堆肥もラクラク作業

コマツ宮城株式会社

仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
電話(022)(237)7441番代

宮城県農業公社

退任 (3月31日付け) 専務理事
退職 (") 白石牧場調査役 (部長待遇)

福島 国雄
高橋 文男

平成 6 年 4 月 1 日付け

新	旧	氏名
専務理事	新任	佐々木 敦夫
畜産部長	畜産部次長	鹿野田 功
畜産振興課課長補佐	基地建設課技術主査	渡辺 武
基地建設課技術主査	仙北事業所工事課技術主査	太田 秀夫
白石牧場場長	白石牧場調査役 (課長待遇) 兼次長	平間 勲
" 次長	" 主任主査	松下 一良
" 技師	大郷牧場技師	遠藤 康彦
仙北事業所工事課技術主査	畜産振興課技術主査	高橋 仁
事業部技術管理課技師	" 兼事業部技術管理課技師	平田 利幸

宮城県畜産農業協同組合連合会

平成 6 年 2 月 25 日付け

新	旧	氏名
総務部総務課	事業部指導課	渡辺 勝浩
事業部指導課	仙南支所	千葉 茂美
退職 (2月28日付け) 事業部業務課	鈴木 靖子	
" (3月31日付け) 総務部長	白鳥 寿	
" (") 総務課長兼経理課長	佐々木 孝志	
" (") 遠田支所	橋本 護子	
" (") 遠田支所	武中 栄子	
" (") 石巻支所	鶴田 美千代	
" (") 非常勤嘱託	鹿又 久雄	

平成 6 年 4 月 1 日付け

新	旧	氏名
総務課長心得兼経理課長心得	総務課長補佐兼経理課長補佐	西條 寛治
石巻支所	遠田支所	本間 恵子
遠田支所	古川支所	佐藤 咲子

宮城県農業共済組合連合会

退職 (3月31日付け) 中央家畜診療センター診療課長補佐

嶋山 秀明

平成 6 年 4 月 1 日付け

新	旧	氏名
家畜部診療指導課長	県北家畜診療センター診療課長補佐	熊谷 敏信
園芸任意部園芸課主幹 (課長待遇)	家畜部診療指導課主幹	浅野 恵一
家畜部診療指導課長補佐	園芸任意部任意課長補佐	目黒 雅治
" 家畜課家畜共済引受係長	総務部総務課総務係長	紺野 浩一
総務部総務課技師	家畜部家畜課技師	木村 弘実
中央家畜診療センター勤務 (部長待遇)	家畜部付 (部長待遇) 兼家畜診療所研修所勤務	小野 敏行
県南家畜診療センター所長兼庶務課長兼診療課長	県南家畜診療センター所長兼庶務課長	氏家 賢一
家畜診療研修所次長 (所長待遇) 兼県南家畜診療センター次長	家畜診療研修所次長 (所長待遇) 兼庶務課長	佐藤 繁
中央家畜診療センター次長	県南家畜診療センター次長兼診療課長	吉田 重夫
" "	家畜部診療課長	千葉 正寛
県北家畜診療センター診療課技術主査兼損防課勤務	県南家畜診療センター損防課技術主査兼診療課勤務	吉田 勝策
県南家畜診療センター診療課技師兼損防課勤務	中央家畜診療センター診療課技師兼損防課勤務	横尾 圭一
獣医職員	新採用	菅原 真哉

飼料は  まるきた印

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町 3 丁目 2 番 8 号

TEL 石巻 0225 (22) 6111

FAX 石巻 0225 (22) 6116

動物用 (牛専用)
医薬品

トルラミック

特殊酵母十必須ビタミン十ミネラル配合

株式会社 トーシン

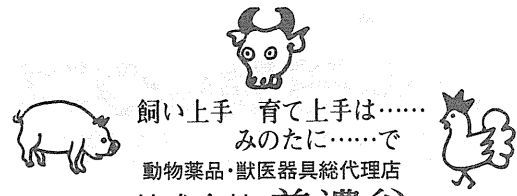
古川市古川字上古川屋敷 9 番地の 1

TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)

宮城県経済農業協同組合連合会

平成6年4月1日付け

新	旧	氏名
畜産総合課長	畜産総合推進課長	石井 稔
養牛課長	酪農畜産課長	伊藤 典安
古川畜産推進事業所長	仙台支所吉岡地区担当次長	中鉢 昌次
農業機械課長	飼料課長	嶋田 忠
経理課	飼料課	大友 卓
養豚養鶏課長	仙台食肉事務所長	佐藤 昌念
仙台畜産推進事業所長	大河原支所	菅井 節男
米山畜産推進事業所長	黒川家畜市場長兼酪農畜産課	佐々木 仁
古川畜産推進事業所	仙台支所	本郷 彬
佐沼支所佐沼地区担当次長兼地域営農センター担当	佐沼支所佐沼地区担当次長	沢田 勝彦
畜産総合課補佐兼家畜診療所長	家畜総合推進課	一瀬 修三
養牛課補佐	酪農畜産課補佐	丹野 康治
養豚養鶏課補佐	食肉販売課	小関 敏彦
仙台食肉事務所長	酪農畜産課兼黒川家畜市場	佐藤 輝男
仙北食肉販売所長	仙北食肉販売所	木村 伸
黒川家畜市場長兼養牛課	酪農畜産課兼黒川家畜市場	高橋 一雄
養豚養鶏課	畜産総合推進課	高橋 修
仙台畜産推進事業所兼家畜市場	畜産総合推進課補佐兼家畜診療所長	保科善一郎
畜産総合課	畜産総合推進課	菊地 潔
〃	古川支所	小室 秀行
〃	飼料課	佐藤 恵子
養牛課	酪農畜産課	佐藤 宏子
〃	〃	石垣 史弘
〃 兼家畜市場	酪農畜産課兼黒川家畜市場	畑山 和夫
〃	〃	斉藤 力
養豚養鶏課兼家畜市場	畜産総合推進課	大友 良彦
家畜診療所兼養豚養鶏課	家畜診療所兼酪農畜産課	深田 留美
養豚養鶏課	飼料課	屋代 安子
食肉販売課	畜産総合推進課	佐々木 仁
〃 兼東京販売事務所	東京事務所	渡部 良一
仙北食肉販売所	肥料農薬課	多田 伍市
〃	石巻支所	高川 信幸
仙台畜産推進事業所兼家畜市場	仙台支所	阿部 文明
〃	〃	中沢 俊一
〃	古川支所	菊地 光子
古川畜産推進事業所	〃	松野 誠毅
〃	〃	熊谷 好博
〃	〃	高橋 雅博
〃	〃	熱海 伸浩
米山畜産推進事業所	畜産総合推進課	後藤 嘉信
〃	石巻支所	佐々木 隆志
〃	〃	山田 宏子
畜産課総合課	畜産総合推進課	渡辺 好造



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で
動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷

本店 山形市蔵王成沢字町浦491-2 TEL.083121
 仙台店 仙台市太白区山田字羽黒堂5番216 TEL.094306
 鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57-1 TEL.040963

ビフィズス菌は
ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。
活きたまま腸までとどきます。

ビヒダス®
プレーン
ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社
名取市飯野坂五丁目1番3号
 ☎ (022) 384-5181